

## 会津駒ヶ岳山行報告

(山城) 尾瀬

(コース) 滝沢橋(駒ヶ岳登山口)→駒の小屋→会津駒ヶ岳→中門岳→往路をピストン

(登山方法) 小屋泊まり縦走

(日時・天候) H28年5月21日(土) 晴れ後時々曇り 5月22日(日) 晴れ

(参加者) CL室 昌美 狩野順一 花島義和 鈴木愛子(記録)

(山行タイム)

5/21(土) 千葉 5:30⇒東北道 那須塩原IC⇒滝沢橋(会津駒ヶ岳登山口) 10:20着 10:55発→水場 12:50着 13:00発→駒の小屋 14:30着(泊)

5/22(日) 駒の小屋 5:45発→駒ヶ岳頂上 6:00→中門岳頂上 6:50→会津駒ヶ岳頂上 8:00→駒の小屋 8:10着 8:30発→水場 9:20→滝沢橋(会津駒ヶ岳登山口) 10:20着 10:45発→アルザ尾瀬の郷で日帰り温泉入浴→帰葉 17:00頃

(山行報告)

5/21(土) 天気 晴れ後時々曇り

軽い準備運動をして10:55出発 ハルゼミの大合唱が私達を迎えてくれた。その大合唱を聞き、頑張るぞと意欲がわいてきた。太陽の光を浴び、とても綺麗な新緑の中、歩を進める。オオカメノキの白い花が群生していて、その間々にピンクのツツジが咲いていて、とても綺麗で励まされた。



ブナの新緑の中にオオカメノキの群生



オオカメノキの花

しばらく急坂が続き、傾斜が緩やかになった頃、水場に着いた。その時、私は何故か目まいがして、足がふらついてしまった。その様子を見たMリーダーが「鈴木さんの共同装備を持ってあげてください」と言ってくださり、Kさん、Hさんが私の共同装備のガスセットとネギ4本を持ってくれた。あの時はご迷惑をかけた済みませんでした。Kさん、Hさん有難うございました。パンとチョコを食べたら元気が出てきて、いつもの様に歩けた。シャリバテであったのか…? 今朝、4時にしっかり食べたのだが…。

次の休憩の時に共同装備を返してもらい、更に歩を進めた。

標高1800m位の所より、時々雪が出てきて、それから少し歩くと、ずーっと、雪道で嬉しくなる。

樹林帯を抜けると、燧ヶ岳、日光白根山、至仏山、駒の小屋等々が見え、元気をもらえた。少し霞がかっていて、空がもっと青い空だったらなあと思った。

そして駒の小屋 14:30着。

予定では今日のうちに、会津駒ヶ岳の山頂に行く予定であったが、明日、中門岳に行く時に駒ヶ岳山頂も通

るので、今日は行かないことにした。



ミツバツツジ？ ムラサキヤシオ？



中門岳への稜線から見えた燧ヶ岳

小屋は宿泊定員 28 名、完全予約制で詰め込みはしない由、本日の宿泊者 17 名、外は寒かったが小屋の中は暖かくゆっくりできた。小屋を経営しているご夫婦も、アットホームで良い感じの方であった。

自炊室がちょっと狭かった。自炊室はグループごとに時間制で使うようになっていた。

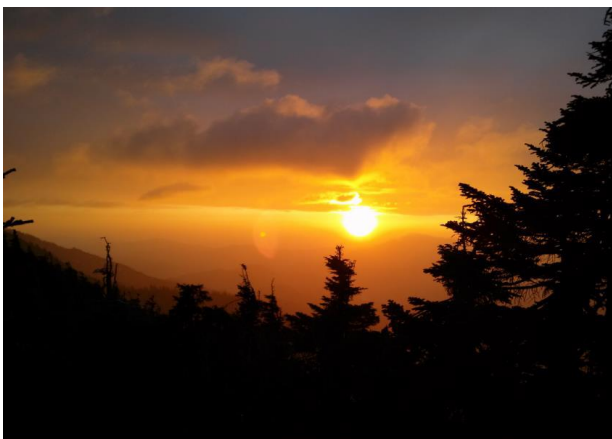
私達が自炊室を使う時間は 17:30 まで。

夕食は比内鳥の鍋と生ハムサラダ、即席漬け、しめはうどん。生ゴミを捨てる事は出来ないし、持ち歩くのも嫌だし、綺麗に食べ終わすことに 4 人で頑張り、皆、お腹がいっぱい。美味しい料理を頂き、山の話に花を咲かせ、楽しいひと時であった。

電気と水がない小屋で、暗くなるとランプに灯がともる。水は雨水を貯めている由。宿泊する人で、料理に使う水は無料でもらえた。煮沸しないと行動中の飲み水には使えない。

夕食後、指定された布団の上で、4 人で楽しく歓談していると、小屋のオーナーが来て、「今、夕日が綺麗です。特にトイレの窓の所から眺めると、凄く綺麗です」と知らせてくれた。みんなで見に行くと、本当にとっても綺麗な夕日で感動した。隣で見ていた人が、「ここに 5 回来ているが、こんなに綺麗な夕日は初めて」と言っていた。

またしばらく歓談し、8 時消灯の時間となる。初日で疲れたこともあるのか、私はすぐに眠りにつけた。



小屋のトイレからみた夕日



小屋の前で見た朝日

5/22 (日) 天気 晴れ

4時起床。朝食をみんなで作る。メニューは皿うどんと餃子のスープ。とても美味しかった。しっかり腹ごしらえをして、駒の小屋を 5:45 出発。シラビソやシャクナゲ等々の木々の中、急坂を登ると、会津駒ヶ岳頂上、6:00 着。周りに低い木々があり、あまり展望は良くない。

中門岳に向かう稜線に出ると、広い草原上になっていて（今は雪で真っ白）、たまに木道あり（雪が消えていた）、平坦な状態の所もあり、360度の眺めが良く、気持ち良く歩いた。

夏には、高山植物が沢山咲いて綺麗だろうなと思いながら歩く。

遠く、越後駒ヶ岳、中の岳、平が岳、燧ヶ岳、至仏山、あと名前の分からない山々が見えた。

近くの山々の雪の白と針葉樹の緑のコントラストがとても綺麗であった。



会津駒ヶ岳から中門岳への稜線



会津駒ヶ岳山頂にて

広い草原上の稜線で、どこが中門岳の頂上か分からず、まるみを帯びた草原上の端まで行ったが標識がない。さっき通り過ぎた池の中に、柱の様な標識らしき物がたっていたので、そこへ行ってみる。そしたら、池の中に、柱の様な木に「中門岳頂上」と書いてある物があった。標識だったのだ。「ここら辺一帯が中門岳の頂上です」と書いてあり、三角点はなかった。記念写真を撮り、しばし眺めを楽しみ、往路を辿る。



中門岳頂上にて



越後駒ヶ岳と中の岳をバックにそり滑りのKさん

斜面でKさんがシリセードをやる様な形のそりで、格好よく楽しそうに滑っていた。私もやってみたいと思ったが、急斜面だし、バランスの悪い私は、きちんと止められなかったら…という不安もあり、それはしなかった。



下山開始前、駒の小屋にて

今回はオオカメノキの群落、所々にピンクのツツジ、2本のタムシバが綺麗に咲いていて、その花に会え、嬉しかった。

山を歩いていて、「この山は一回登ればいい」「この山はまた来たい」等と、よく思うが、会津駒ヶ岳はまた登りたいと思う。高山植物が沢山咲く頃、秋の紅葉の頃に、また行ってみたいと思った。

小屋のオーナーは、「例年より雪が2m位少ない」と言っていたが、標高1800m～2000m～中門岳への稜線はまだ雪が沢山あり、スノーハイキングが十分楽しめ良かった。

ご一緒した皆さんのお蔭で、とても楽しい山行でした。お世話になり有難うございました。

またどこかの山行で一緒したいです。

駒の小屋着 8:10。サブザックをしまい、荷物を整え、駒の小屋を後に、8:30 下山開始。往路を辿り、駒ヶ岳登山口 10:20 着。

アルザ尾瀬の郷 日帰り温泉で汗を流し、帰葉 17:00 頃アルザ尾瀬の郷は期間限定で、今日は入浴料 500 円を入れたが、いつもは 850 円の由であった。

新緑を眺めながらの露天風呂は、極楽、極楽、至福の時であった。

#### 今回の山行を終えて

私は 20 数年前に一度会津駒ヶ岳に登ったことがあり、今回は 2 回目である。

昔のことで、よく覚えていない。ハクサンコザクラが沢山咲いているのが見たくて登ったのだが、もう時期が終わっていて、その花は見られなかった事と、急坂があったこと、夜、登山口に向かって車を走らせていた時に、桧枝岐の道路で、車の前を兎が走り抜けたことしか覚えていない。昔の記録を書いている手帳は、引越しの際、家の中のどこかにはあるのだが、しまいなくしてしまった。